



近藤 大介 議員

# 校区をこえた仲間づくりを

教育長 検討していきたい

【近藤】地域の未来を担う青少年の健全育成のために地域が果たすべき役割、課題は。

【教育長】全国的に社会情勢の大きな変化にともなう家庭や地域の教育力の低下が心配されており、本町でもそのような傾向にある。地域が果たすべき役割は、地域の大人が地域の子どもにかかわり、見守ることだと考える。そうしたかわりがない現状が課題である。

【近藤】本町の年間出生数は80人ほどで、少子化が進むなか、少年期から校区をこえた仲間づくりが大切と考える。

小学校6年時や中学校1・2年時などに、大山青年の家を利用し、町内の同級生が交流できる夏季合宿を行えないか。

【教育長】今後、検討していきたい。



地域の伝統文化を守り、生かす(八幡神社)

## 観光資源でもある 祭りを文化財に

町長

指定に向け  
調査したい

【近藤】本町の特徴ある祭りを観光資源として生かしていく考えは。

【町長】地元と協議しながら、観光情報として発信していきたい。

【近藤】国信神社、逢坂八幡神社御幸行列および御来屋の船曳き神事について、町の無形

文化財に指定する考えは。

【町長】国信神社、逢坂八幡神社御幸行列は、町文化財保護審議会の調査候補に上がっており、文化財指定に向け調査していきたい。御来屋船曳き神事も、今後検討したい。

# 「読書通帳」の導入は

教育長 読書意欲の向上に期待できる

【近藤】図書館は社会教育の拠点であり、地域の貴重な財産である。利用状況や課題は。

【教育長】子ども向けの分野は充実しているが、図書購入の予算が少なく、図書の充実が必要である。

【近藤】「読書通帳」(銀行の通帳のようなもので借りの情報が記録できる)を導入した図書館では貸し出し実績が向上している、本町で導入の考えは。

【教育長】読書意欲の向上に効果が期待できるので、検討していきたい。



心うらおう空間(町立図書館)